

第2章 第二次計画の基本的な考え方

第一次計画の成果、課題を踏まえ、5年間が経過した現在の状況のもとで、家庭・地域、学校、図書館・行政が連携して、引き続き取組み事業を進めていくものとします。

1 計画の目標

子どもたちが求めるときに自由に本を選び、本に接することができる、そして、本の探し方や本の楽しさを伝えてくれる人のいる、豊かな読書環境を、家庭・地域、学校、図書館・行政が連携して整備していくことを目標とします（第一次計画での目標を踏襲）。

この目標をさらに進め、本を通して人間関係の輪が広がっていく取組みを推進し、子どもたちと本のつながりを応援します。

～本はともだち 本と人の輪づくり～

2 基本方針

次の基本方針により、本と人の輪づくりを推進していきます。

○ 家での読書を応援します。

家庭で読書を楽しみ、本の楽しさを家庭で語り合えるような読書活動を推進します。

○ ともだちからともだちへ 本の紹介を応援します。

学校での子ども同士でのブックトーク活動を支援します。

○ 子どもと本をつなぐ人たちの交流を応援します。

学校・地域・図書館・行政など、まわりの大人たちが子どもたちの読書の応援団になるような取組みをしていきます。

3 推進のための体制

計画の推進のためには、家庭・地域・学校・図書館・行政が連携して取り組むことが大切です。連携をより円滑に図るための連絡・調整のための窓口機能を第一次計画に引き続き、「かまくら読書活動支援センター」が担っていきます。

また、具体的に計画を推進する支えとなり、情報を共有化するための機能を、第一次計画に引き続き「鎌倉市子ども読書活動推進連絡会」が果たしていきます。

■ かまくら読書活動支援センター

- ・ 計画に関わる企画・立案・行事の実施、行政の関係課・ボランティアなどの連絡・調整
- ・ 本の収集・貸出・搬送
- ・ 読書相談、所蔵調査、質問・相談の窓口
- ・ 協力し合える部署、施設、地域の団体の掘り起こしや、本や読書に親しむ環境が整っていない地域・施設などへのサービスの提供
- ・ 学校や他の施設、行政の関係課などとの連絡窓口として、各地域図書館にも連絡担当を配置

■ 鎌倉市子ども読書活動推進連絡会

- ・ 計画の進捗状況を確認・検証・評価
- ・ 検証・評価の結果をいかし、情報交換を行いながら、子どもたちの読書環境がより整備されるための方策を検討・提案